

鳥取港に11年ぶりの外航クルーズ船が寄港しました！

令和5年4月17日(月)、鳥取港に外航クルーズ船『ル・ソレアル』が寄港しました。
鳥取港への外航クルーズ船の寄港は、2012年以来約11年ぶりとなりました。
今回のツアーは、かつて日本国内の交易を担った「北前船」の寄港地をめぐるもので、小樽港・酒田港・佐渡港などを経て、鳥取港に寄港しました。
乗客らは下船後、鳥取砂丘やサンドミュージアム、倉吉白壁土蔵群等を訪問し、鳥取の魅力を感じていただきました。
午後6時ごろには地元の方に見送られながら、次港「萩」に向け出航しました。

鳥取港に寄港した「ル・ソレアル」



北前船

江戸時代中期～明治にかけて、北海道と大阪を商品の売り買いをしながら日本海回りで航海した船の総称。
米や塩などあらゆる生活物資が運ばれた。

当日は、寄港に合わせて地元団体による和太鼓演奏や地元高校生による歓迎が行われました。そして、船内では歓迎セレモニーも開催され、11年ぶり外航クルーズ船寄港をお祝いしました。



←歓迎の様子